

緑のセンターだより

No.264 令和3年3月1日発行

発行元：(公財)札幌市公園緑化協会 豊平公園緑のセンター

バッコヤナギ(ヤマネコヤナギ) ヤナギ科 ヤナギ属 *Salix. caprea* L.

まだ冬の寒さが残る3月に豊平川などの河川敷を歩くと、バッコヤナギの綿毛が樹冠全体を真っ白に染めているのを見かけます。近づいて見ると、それらは絹のように繊細で極細の毛のようなものが集まり、太陽に当たると銀色に輝き美しさを増します。

この綿毛は前年の12月頃には暗赤紫色をした冬芽の先を破り、時間をかけてゆっくりと少しずつ芽鱗を押し広げて、真っ白な楕円形の花穂をつくり、4月上旬になるとその毛先に小さな花をつけます。

バッコヤナギは雌雄異株で雄株は黄色い花を、雌株は目立たない緑白色の花を咲かせます。(ヤナギ科の樹木は雌雄異株)

札幌近辺で見られるヤナギ(ヤナギ属: *salix* 属)の仲間は多く、高木類ではオノエヤナギ、エゾヤナギ、シロヤナギ、エゾノキヌヤナギなどがありますが、それらは細長い葉を持ち、花の形状も似ていて、しかも、ヤナギの仲間は種間雑種が起こりやすいために、種類の判別は不可能に近いものがあります。しかし、バッコヤナギは上述のヤナギ類と同じ仲間にも関わらず、その葉は幅広の楕円形で、比較的分厚く多少照葉で、冬芽は他のヤナギ類に比べると丸くて大きいことから、区別が付きやすい種類です。

バッコヤナギは落葉高木で樹高は5~15m、別名ヤマネコヤナギとも呼ばれています。他のヤナギ類に比べると乾燥地を好み、本州では丘陵から山地の明るい場所に生えていますが、札幌では豊平川などの河川やその支流の川辺でも見られます。

バッコという名がつくヤナギは2種類あって、一つはバッコヤナギで、もう一つはエゾノバッコヤナギです。前者は北海道南西部、本州、四国に、後者は北海道、南千島、アジア東部に分布し、両者は札幌近辺で見られます。それらの区別は、細い枝の樹皮を剥いて芯の部分(裸材)に隆起線があるかどうかで見分けるのですが、バッコヤナギには隆起線があり、エゾノバッコヤナギにはありません。ちなみに、両者を同一種とする見解もあると聞きます。



バッコヤナギの「バッコ」は、語音、響きからして東北地方に起因する名前のようで、その由来は諸説あるようです。

一つには、牛が葉を好んで食べることから「牛」を意味する東北の方言「べこ」を由来とする説や、雌花が白髪のようなので「老女」を意味する東北の方言「ばっこ」を由来とする説、アイヌ語で老女を意味する「pakko」を由来とする説などがあります。

参考文献 亜璃西社：北海道樹木図鑑、山と溪谷社：樹に咲く花、共立出版：落葉広葉樹図譜、山と溪谷社：樹木の名前

3月の園芸作業

ここに記載した以外の作業も沢山ありますので
ご不明な点は緑の相談までお気軽にお問合せください。

緑の相談受付 10:00～12:00 13:00～16:00
★豊平公園 811-9370 月曜以外毎日
(月祝日の場合は受付、翌平日に休み)
※平岡樹芸センター・百合が原公園は冬期間相談受付していません。

		作業時期			作業内容
		上旬	中旬	下旬	
屋外園芸	庭木花木	整枝・剪定			ナナカマド、コブシ、モクレン等、必要に応じて樹冠内に日が射し込むように。フジ、サクラ、ヤマボウシ、ナツツバキ等は必要に応じて早めに剪定する。花芽に注意
		中低木の雪割り			融雪で起こる雪の沈下によって、下枝が折れたり裂けたりするのを防ぐ。
	果樹	整枝・剪定			ウメ、モモ、リンゴ、ナシ、スモモ、サクランボ等を剪定する（ブドウは除く）
		病害虫予防			マシン油乳剤・石灰硫黄合剤等の散布。各樹種により萌芽時期が若干ズれるので、芽が動き出す前の適期に適量を散布する。※朝の風のない時間に散布
	野菜		播種準備・種まき		野菜の種類に合わせて用土を準備し、種まきトレイに種をまく。種類により発芽温度が異なるので、必要な温度を守る。用土に肥料分は入れない。
室内園芸	花壇		種まき・育苗		インパチェンス・コリウス・サルビア等の一年草の種まき・発芽温度20～25℃必要
	鉢花		植替え		3月下旬になると気温も上がり、根の生長も活発になるので、生育が始まった株から順次植替えを行う。
		花後の管理			アザレア・ツバキ等の他、ゼラニウム・カランコエ等は開花後にひ弱で徒長した新梢や茎が伸びるので、切り戻しを行い草姿を整える。
		灌水			鉢土の乾燥が早くなるので、乾いたら灌水する。受皿には水を溜めない。
	洋ラン	植替え			コチョウラン、シンビジウム、カトレア等は花後に花茎を切り落とし、植え替える。
		施肥・灌水			新芽・新葉の伸びてきた株には充分に与え、成長を促す。
	サボテン		植替え		シャコバサボテンは10℃位の低温に置き、新芽が動いたら植え替えて暖かい場所へ。植替え後の灌水は4～5日過ぎてから、たっぷりと。
			灌水		低温にして水を切っていた鉢は暖かいところに移し、徐々に水を与える。
	観葉植物	灌水			各種類とも成長が目立ち、鉢土の乾燥も早まるので、乾いたら灌水。
		置き場所			日差しが強くなり始めるので、半日蔭を好む植物はレースのカーテン越し等に移す。



Q いくつかカトレアを育てていますが、花の咲く時期がバラバラで植替えのタイミングが分かりません。
分かりやすいタイミングはありますか？(中央区 S.Hさん)

A カトレアは種類が多く、春咲き・夏咲き・秋咲き・冬咲きと生育サイクルも様々です。園芸店でも手に入りやすいミニカトレアなどは、年に数回咲く不定期咲きも多く見られます。多くのカトレアは、3月以降気温の上昇と共に成長期に入り、植替え適期を迎える株が増え始めます。

カトレアの生育スタイルは大きく2つのタイプに分けられます。

- ① 新芽が動き出すのと同時に新根が伸び始めるもの
- ② バルブ（茎）がしっかり育ってから、もしくは花が終わってから根が伸び始めるもの



どちらのタイプも「根が伸び始めた頃」が植替えのタイミングになります。①のタイプは春の3～5月頃が多く、②のタイプだと秋になる場合もあります。ご自身の株を日ごろからよく観察し、株本から先端が緑色をした白く新しい根が顔を出し始めていたら早めに植替えを行いましょう。

植替えのサイクルは2～3年に1度、一番新しいバルブ（茎）が鉢の縁からはみ出てきたら行います。毎年植え替えるとバルブばかり成長して花付きが悪くなります。

展示会・開花情報（2021年3月～4月）



百合が原
公園

〒002-8082
北区百合が原公園 210
TEL 011-772-3511
JR 学園都市線
「百合が原」駅下車
徒歩 7～10 分



マーマレードブッシュ
2月下旬～5月下旬



ツバキ展

温かな色合いが溢れる

花色が鮮やかで元気の出る温かな色で溢れる百合が原緑のセンター温室。大温室では、鉢物を中心になかなか目にする事のない原種や、高さのある地植えされた約 250 種類 280 株ものツバキを展示しています。寒さの厳しい北海道では、これほどのコレクションをご覧いただけないため、ツバキの魅力を堪能できる、大変貴重な展示会となっています。

また中温室では、オレンジ色のビタミンカラーが春らしく、黄色～オレンジ色のグラデーションがなんとも美しいマーマレードブッシュもお楽しみ頂けます。花期が長く、数か月に渡って楽しむことができるのもこの植物の魅力で、ハンギングフラワーとして展示中です。

展示会情報

- ・ツバキ展～古典園芸、道内最大級のコレクション～
2/23（火祝）～3/21（日）
- ・春の洋ラン展～豪華絢爛！愛好家によるランの展示～
3/2（火）～3/7（日） ※最終日は 15：00 まで
- ・レカンフラワー展～立体的なフラワーアート～中止



豊平公園

〒062-0905
豊平区豊平5条13丁目
TEL 011-811-6568
地下鉄東豊線
「豊平公園」駅下車
1 番出口徒歩 1 分



バナナ 2月下旬の様子



バナナの果実

豊平公園緑のセンターアトリウム 2 階では、黄緑色のバナナの果実がつき始めています。

実をつけているのはドワーフという小型のバナナ。これからいくつもの房が垂れ下がっていきます。

バナナがどんどん成長していく様子をご覧いただけます。ぜひあたたかく見守ってくださいね。



ボタニカルアート展

展示会情報

- ・ボタニカルアート展
3/16（火）～3/28（日）

イベント情報（3～4月）



豊平公園緑のセンター

☎ (011) 811-6568

<https://www.sapporo-park.or.jp/toyohira/>

【園芸教室】	開催日	時間	教材費	定員	申込開始
果樹類の剪定と病害虫予防	3月4日(木)	13:30～	200円	20名	申込受付中
【イベント】	開催日	時間	教材費	定員	申込開始
コチョウランの植替えサービスデー ※要予約(1時間につき2名まで)	3月7日(日)	9:00～16:00	教材費実費	12名	申込受付中
【バラづくり実践講座】	開催日	時間	教材費	定員	申込開始
④バラの系統と品種	3月21日(日)	10:00～	500円	20名	3/11(木)～



百合が原公園

☎ (011) 772-3511

<https://yuri-park.jp/>

【講習会】	開催日	時間	教材費	定員	申込開始
洋ランの育て方	3月6日(土)	13:00～14:30	130円	10名	申込受付中
レカンフラワーを使った講習	3月14日(日)	10:30～12:00	2,830円	10名	中止
中止		13:30～15:00	2,830円	10名	中止

●コチョウラン植替えサービスデーってなあに??

豊平公園では、皆様のご自宅にあるコチョウランを使って参加費無料で植替えを学べるサービスデーを設けています。



●お申し込み&参加のポイント

①完全予約制

- ・実施日の9:00～16:00の間で、一人あたり1時間の枠を設けています。
- ご予約の際は、ご希望の時間をお伝えください。

②植え替えは一人一鉢まで

- ・ご自宅にあるコチョウランを一鉢、鉢から外してご持参ください。
- 外気に当てないように、新聞紙などで包みましょう。

③その他の持ち物

- ・園芸用のゴム手袋やエプロンなど、汚れても良い服装でお越しください。

④材料費実費

- ・参加費は無料ですが、植え替えに必要な材料費が別途かかります。
- ・新しい鉢や水苔は、お客様のコチョウランのサイズによって大きさや量が異なるため、その場で適切な物をご購入いただきます。
- ・おおよそ1,000円程度を目安にお考え下さい。

